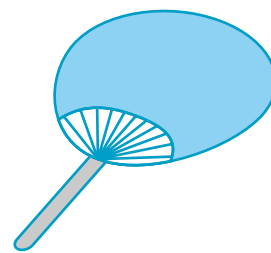


第58回 香川大学祭

第58回香川大学大学祭実行委員会 実行委員長 米原 大貴



今年の香川大学祭は、11月2日から5日(2日は前夜祭)にかけて行われました。主なイベントは、2日に行われました平井喜美ライブ、3日の香川観謳会による能の公演、ノーベル物理学賞を受賞された小柴先生による講演、そしてBachicco!によるライブ、4日にはカラオケ大会、そして最終日である5日にはお笑いライブ、mirekanによるメッセージライブ、nifuや四星球によるライブを行いました。

今年のテーマは、地域の人々とのつながりを大切に、との願いから「horizon～無限への広がり～」としました。そして、昨年を上回る79もの参加団体がこの大学祭に参加してくれました。

この大学祭で、たくさんの笑顔に出会うことが

でき、多くの地域の方々に来場していただけたので、楽しい思い出づくりのお手伝いできたのではないかと思います。僕自身も最高に楽しませて頂き、これ以上に幸せなことはありません。

また、今年はいろいろと越えなければいけない多くの壁がありました。しかし、天候にも恵まれ、大きな問題もなく、無事に終えることができました。これは、協力していただいた皆様のおかげです。この場を借りて、大学祭の実行委員長として、また一人としてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。このような素晴らしい大学祭が、来年以降も引き続き実施されることを心より祈っています。



♪ 吹奏楽団による素晴らしい演奏



★ Bachicco!ライブ



♥ 児童文化研究会による「子どもまつり」

第27回 香川大学医学部祭

第27回医学部祭実行委員会 実行委員長 本川 俊輔

平成18年度の香川大学医学部祭は、10月13日から10月15日の三日間に亘って開催されました。今年は、様々な企画やお笑いイベントや医学展の充実を図りました。具体的には、まず企画では、昨年からある企画のパワーアップ、つるつる大相撲等の、新しい企画、ビンゴの景品の充実化等でありました。医学展では、様々な、健康診断と、パネルの充実化をがんばりました。お笑いイベントでは、学生支援プロジェクトの予算をかり、笑い飯等、今句の芸人をよぶことができました。医学部生は、それぞれ最高の気分でこの一大イベントを締めくくれたのではないかと信じています。

また今回は、外部からいらっしゃったお客様も大変多く、ライブのチケットは、当初の最大発券予定の500枚を超え、600枚以上となり、医学部祭全体として、大成功をおさめることができました。この成功は、ご協力下さったスポンサーの皆様や同窓会の皆様、学務委員会の先生方、学務室の方々、そして何より各サークルの皆様、この医学部祭にかかわって下さったすべての方々のおかげです。この場をお借りして実行委員会代表として、また一個人として御礼申し上げます。ありがとうございました。このような素晴らしい医学部祭が来年度以降も引き続き行われていくことを心より願っております。



ミスター医学部コンテスト



サークル対抗コンテスト

第3回 香川大学工学部祭

第3回工学部祭実行委員会 実行委員長 高嶋 明人

平成18年10月22日に、第3回となる香川大学工学部祭を盛況のうちに開催する事が出来ました。まずは工学部祭開催にあたってご尽力頂きました関係各位様、また工学部祭にご来場頂きました皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

さて、本年は昨年、一昨年にもまして多くの方のご来場を頂き、工学部祭が地域の方々へ認知されてきたという事を実感し、とてもうれしく思っております。2年前、香川大学が独立行政法人となった事をきっかけに、工学部の学生有志達と共に何か工学部で出来る事はないかと話し合い、工学部祭実行委員会を立ち上げた事を懐かしく思い出します。

工学部祭は当初、工学部での学生の活動を地域の方々、特にこれから受験を控えた高校生や将来の方向性を決める高校受験を控えた中学生に身近に感じていただくことを目的として開催致しました。

今回の工学部祭ではそのような取り組みが少しずつではありますが、実を結び始めているように感じました。特に、今年は学生企画が好評で、材料創造工学科の研究室から2件、学生ロボット研究所から2件、また模擬店なども6店舗ほど出展され、それらはどれも多くのお客様を集めていました。また、それらの中で学生達が生き活きと来場された方々に説明している姿もとても印象的でした。JAZZライブや人気授業の体験会なども好評で、内容の濃い工学部祭に出来たのではないかと考えています。

工学部は、世界最先端の技術を集め“新しい物”を作り出すために日々努力を続けています。この工学部をより多くの人に知ってもらい、工学部で学ぶ事の楽しさを多くの人、特に高校生や中学生の方々に知ってもらえるように、今後もより良い工学部祭を目指していきたいと考えております。



活気ある模擬店での様子



JAZZ ライブ

農学部収穫祭2006

農学部収穫祭2006 実行委員長 小野由希子

本年度の農学部祭は、自然がもたらしてくれた秋の豊かな収穫を皆様とともに喜び・感謝の気持ちを込めて、「収穫祭」と題し、文化の日11月3日に開催されました。農学部収穫祭2006は、農学部の教育・研究・社会貢献活動等を、一般の方々、学部生、卒業生等に「学生による地域密着型学祭」として紹介し、農学分野への理解を分かりやすく促す第一歩になることを目標にしました。そこで、学生主体の企画として、研究紹介、留学生によるお国自慢料理の試食、ソーセージ/アイスクリーム製造の体験実習、学生が栽培した野菜や花の販売を行いました。この企画は、香川大学の学生支援プロジェクト事業に採択され、学生企画実行委員会メンバーは、学部長から直々に農

学部キャンパスボランティアとして企画実行を委嘱されました。この企画を通じて、多くの方々と交流することができ、普段では味わう事のできない経験をしました。好天に恵まれ、多くのご来客を迎えることができた農学部収穫祭が、皆様の心にも刻まれるものとなれば幸いです。

末尾になりましたが、御支援、御協力下さいました同窓会の皆様、先生方、学務の方々、そしてなによりキャンパスボランティアのメンバーに、この場をお借りしまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

今後この行事が定着することにより、学生と参加者が共に楽しめる農学部の季節的なイベントとして、多くの人々に受け入れられていくことを心より願っております。



自分達が栽培した
苗の販売



研究紹介
～キノコづくり体験



留学生お国自慢
～栽培した餅米を使っての日本代表お餅つき